

峡田っ子ライフ

～読書活動でキャリア教育～

自 自分で考える力 友 友達と活動する力 自 活動の振り返りをする力 見 見通しをもつ力

令和8年7月21日(火)

校長 松本 典之

研究担当 榎本 日月

峡田小学校の幅広い読書活動

前回の「峡田っ子ライフ」では、峡田小学校のキャリア教育でつきたい力、**自** 自分で考える力 **友** 友達と活動する力 **自** 活動の振り返りをする力 **見** 見通しをもつ力、を運動会を通してどのようにつけようとしたかを紹介しました。今回は、読書活動です。

「この本、おもしろいというから、借りたよ。」「じゃあ、次はぼくにこの本を貸してね。」

「先生、〇〇という本はありますか?」「貸し出し中ですね。」「予約をお願いします。」

峡田小の図書館を使った学習の時間は、こういう会話がどの学年も聞かれます。1週間に、3冊借りることができ、自分で選ぶだけでなく、友達に影響されて、新しく出会う本もたくさんあります。本を使った学習は、読むだけでなく、「本を自分で選ぶ」、「友達によって、読書の幅を広げる」、「本を使って情報を集める」、「読んだ本に対して自分の感想や考えをもつ」といった力も付けています。

読書月間

6月は、読書月間でした。各学年、目標冊数やページ数を達成させようと普段より、多くの読書をしました。それだけでなく、本に親しんでもらおうと、図書委員会が、1、2、3年生、ひまわり学級に読み聞かせに来てくれました。上級生が読んでくれる本に、興味津々の子どもたち。図書委員の人たちも、この日のために、一生懸命練習をしてくれていました。読み聞かせだけでなく、目標冊数やページ数に達成すると、図書委員会が作成したしおりがもらえるのです。図書委員会は、峡田っ子のみんなが、「本を好きになってほしい。」「たくさん本を読んでほしい。」というめあてのもと、様々な取組をしています。まさに、自分たちで考え、友達と活動する、読書月間でした。



調べる学習

2年生は、夏野菜を本で調べて、ワークシートにまとめました。本格的な調べ学習は初めてです。自分が調べたいことを、本のどこにあるか探して、まとめるのは低学年の子供たちにとって大変なことです。この積み重ねがあって、今の高学年の調べる学習が成り立っているのです。高学年は、インターネットで調べることも多くなっています。1学期重視しているのは、インターネットで調べた最初のページは、AIがまとめたものなので、そこをコピー＆ペーストせず、きちんと調べたいサイトにいき調べることを徹底しています。

インターネットを通じて、あっという間に調べたいことを調べられる時代、また、情報をまとめられる時代になりました。この情報は正しいのか判断し、その情報を使って実際にやってみようとする実践力もつけていきたいと考えています。

